

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 森づくり課
 担当名: 間伐・森林循環担当
 内線: 4321
 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B39	皆伐から始める森の若返りスピードアップ事業			一般会計	農林水産業費	林業費	造林対策費	森林整備推進事業費	
事業期間	平成27年度～平成31年度	根拠法令	彩の国みどりの基金条例		宣言項目				
					分野施策	051245 みどりの保全と再生			
1 事業の概要				5 事業説明					
伐期を迎え利用可能な人工林を対象として、皆伐、地拵、再造林、獣害対策、保育を一貫して行う事業主体を支援することにより、森林の循環利用と森の若返り、県産木材の安定供給、林地残材の利用を促進する。 (1) 人工林皆伐促進(林地残材搬出等) 施工面積見込減 △15,200千円 (2) 皆伐促進作業道整備 補正なし 0千円 (3) 地拵・植栽 国庫の内示差 △43,940千円 (4) 獣害防止柵設置等 柵延長見込減 △13,500千円 (5) 保育(下刈) 補正なし 0千円 (6) 事務費 △152千円				(1) 事業内容 ア 人工林皆伐促進(林地残材搬出等) 曲り材など地拵・植栽の支障となる林地残材の搬出・運搬作業の実施(10月～3月) 60ha 45,600千円 イ 皆伐促進作業道整備 皆伐・再造林及び木材搬出に必要な作業道の整備(4月～9月) 9,000m 36,000千円 ウ 地拵・植栽 植付及び生育環境整備のための地拵と新規植栽の実施(4月～9月) 60ha 55,140千円 エ 獣害防止柵設置 シカ食害から植栽木を守る獣害防止柵の設置・点検修繕作業の実施(4月～3月) 18,000m 34,850千円 オ 保育(下刈) 植栽木の保育のための下刈作業の実施(4月～3月) 120ha 21,900千円 (2) 事業計画 ア 皆伐・再造林面積 240ha イ 作業道の整備 36,000m ウ 獣害防止柵の設置 84,000m (3) 事業効果 ア 皆伐面積 平成31年度まで: 240ha ・森林資源の循環利用促進、県産木材の安定供給及び需要の拡大、未利用木材のバイオマス利用 ・森の若返りによるCO2吸収促進や花粉発生の抑制、生物多様性の保全等、公益的機能の増進 ・木質資源のフル活用、雇用創出による中山間地域の振興 ・一貫作業による新たな森林循環利用システムの構築と定着、全国への波及・拡大 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 森林組合等林業事業体の連携を強化し、皆伐と再造林の一貫作業により森林の健全化を図る新たな取組を行い県内及び全国への波及・拡大を目指す。 (5) 補正予算の概要 ア 人工林皆伐促進及び獣害防止柵設置は施工面積及び施工延長が見込みを下回ったことによる減額。 イ 地拵・植栽は国庫補助金の内示差による減額。					
2 事業主体及び負担区分									
(1)(2)(4)(5) (県 10/10) 事業者 定額									
(3) (国 3/10・県 7/10) 事業者 定額									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×4人=38,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△72,792	国庫支出金	△22,409	繰入金	△50,383			0	122,945
現計額	195,737		28,122		167,615			0	